

2017年度島嶼国総合防災行政(B)コース研修 聴講募集日程

月日	曜日	番号	午前・午後	研修単元	研修内容	担当	場所
9月4日	月	①	13:00-17:00	講義:高知県の災害と防災概要	・南海トラフ大地震とは ・県の防災対策(インフラ、早期警戒システム等) ・土砂災害とハザードマップ	高知県危機管理部南海トラフ地震対策課 チーフ 小松 美紀	高知県庁3階 防災作戦室
5日	火	②	9:00-12:00	講義、視察:地盤液状化防止と高知港周辺の地震・津波対策	・高知県の三重防御について ・液状化防止と防潮対策 ・浦戸大橋周辺(浦戸大橋の耐震補強) ・高知新港(高知県の三重防御について)	高知県高知土木事務所港湾管理課長 岡本 通伸 高知大学防災推進センター 所長 原 忠	高知市内、浦戸湾周辺
		③	13:00-18:00	講義、実習:津波避難施設と避難経路の住民周知	種崎公園→種崎津波避難タワー避難路確認、DIG(舟倉津波避難センター)	高知市地域防災推進課主任 矢野 和彦	舟倉津波避難センター
6日	水	④	9:30-11:30	講義:気象台の予警報について	予警報について(高知地方気象台)	高知気象台 観測予報管理官 瓜生 由明	高知地方気象台 高知入子 国際連携推進センター
		⑤	13:30-16:30	講義:島嶼国における予警報	・簡易な観測機器の開発と普及	元JICA防災専門員 大井 英臣	
7日	木	⑥	9:00-11:00	講義:島嶼国における土砂災害対策	・土砂災害対策の現状と課題 ・国際枠組に基づく取り組み	元JICA防災専門員 大井 英臣	ホテルクラウンパレス 会議室
		⑦	11:15-12:00	講義:土砂災害対策と環境にやさしい川づくり	・洪水対策の基本 ・視察する蛇籠と砂防ダムの概要説明	高知大学准教授 張 浩	
		⑧	14:00-16:00	視察:土砂災害対策と環境にやさしい川づくり	・蛇籠を使用した低コスト、環境配慮型護岸技術 ・斜面崩壊、砂防ダム(北川村)、奈半利川の蛇籠護岸現場視察	高知大学准教授 張 浩	北川村、田野町
8日	金	⑨	9:00-12:00	講義、視察:地域に根ざした防災まちづくり	・室戸世界ジオパークセンターで地形の確認 ・室戸市の災害とその防災対策 ・自主防災組織との連携	室戸市防災対策課 課長 西村 城人	室戸 ジオパークセンター
		⑩	13:00-15:00	講義、視察:室戸市三津地区の自主防災活動	・三津地区自主防災の取り組み ・ソーラーライト避難路等の視察 ・意見交換会	三津自主防災組織	
		⑪	15:30-16:30	視察:災害に強い伝統的な地域づくり	・風水害に強い伝統的家屋が残る吉良川町のまち歩き	吉良川町並み保存会	吉良川町
10日	日	⑫	(時間未定)	実習:避難訓練	高知市北高見町の避難訓練に参加	北高見町内会自主防災組織	北高見町公民館
11日	月	⑬	10:00-12:00	講義:地域防災拠点とDMAT①	高知赤十字病院の災害医療体制と南海トラフ地震時の災害拠点病院としての役割	高知赤十字病院救命救急センター長/副院長 西山 勤吾	高知大学 岡豊キャンパス
		⑭	13:30-15:30	講義:地域防災拠点とDMAT②	南海トラフ地震に際しての大学病院の役割	高知大学医学部特任教授 長野 修	
		⑮	15:30-16:30	視察:高知大学附属病院	災害時に緊急医療対応を行う現場施設を見学		高知大学附属病院
12日	火	⑯	9:30-11:30	講義・演習:コミュニティ防災	・コミュニティ防災の考え方(自助・共助、啓蒙普及活動)、自主防災組織、消防団の役割について ・ロールプレイワークショップ	高知大学地域協働学部 講師 藤岡 正樹	高知大学 国際連携推進センター
13日	水	⑰	9:00-13:00	講義:防災教育(久礼小学校)	・防災教育フィールドワーク(災害時のリスク探し) ・給食体験等	久礼小学校 梅原校長、戸田教頭 高知大学客員教授 岡村 真	中土佐町久礼小学校
		⑱	13:30-17:00	講義:市町村の防災対策	中土佐町の防災対策(講義+津波避難タワー、ポンプ排水施設視察)	中土佐町 総務課危機管理室室長 山崎 正明	中土佐町役場
14日	木	⑲	10:00-15:30	講義:風水害のタイムライン 視察:砂防ダム	・大豊町での町、地区タイムラインの策定 ・砂防ダム、水抜きなどの手法の視察	大豊町役場総務部庶務班長 永野 尊教	大豊町役場
21日	木	⑳	9:00-15:30	アクションプラン発表 ※逐次通訳なし	研修で修得した知見を自国の防災にどう生かすか、具体案を研修員が発表	高知大学	高知大学 国際連携推進センター